

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-7-2

事業名 水産業共同利用施設復興整備事業（那珂湊漁港区域）

事業費 総額 463,734 千円
（内訳：工事費 463,734 千円）

事業期間 平成 25 年度～平成 26 年度

事業目的・事業地区

那珂湊漁港周辺のエリアでは、ひたちなか市の水産業及び観光の拠点となる那珂湊漁港施設、漁協関係共同利用施設、魚市場施設等が津波により壊滅的な被害を受けている。

漁協関係の共同利用施設（製氷機、冷凍冷蔵庫、加工直売所）を整備更新し、流通機能の向上を図る。

事業結果

■工事（H25:299,530 千円, H26:164,204 千円）

●製氷貯氷施設整備 36,530 千円

概要：製氷貯氷施設 製氷 5 トン/日, 貯氷 8 トン/日

製氷貯氷施設

【整備前】



【整備後】



- 冷凍冷蔵施設整備 402,000 千円 (H25:263,000 千円, H26:139,000 千円)
概要：冷凍冷蔵施設 2,176.40 m² 冷凍保管 3,000 トン

冷凍冷蔵施設

【整備前】



【整備後】



●加工直売所施設整備 25,204千円

概要：直売所 89.43㎡

【整備後】



事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

本事業において整備した冷凍冷蔵施設では、毎年3,000トン前後の水産物が取り扱われており、製氷貯氷施設はそれらの水産物を取り扱う際の氷の製造等に利用されている。また、加工直売所では整備後から令和2年度までで累計4,400万円ほどの水産加工物を売り上げている。これらの実績から、本事業において整備した施設が、那珂湊漁港区域における水産物等の流通機能の向上に多大な貢献をしているものとする。

② コストに関する調査・分析・評価

本事業において整備した那珂湊漁港区域の共同利用施設については、公募により施設の管理者を選定し、整備に係る費用を補助金として管理者へ拠出したが、整備工事を行う際などは事業担当部局（水産課）にて工事費のチェックを行っており、コストは適正であったと考える。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定	実績
工事	平成25年度～平成26年度	平成25年度～平成26年度

冷凍冷蔵施設整備工事において当初よりも発注時期を早めたおかげで、当初想定の間内にすべての工事を完了することができたため、事業手法は適正であったと考える。

事業担当部局

ひたちなか市経済環境部水産課 電話番号：029-273-0111（内線221, 268）